

## 日本臨床検査学教育協議会 令和4年度 第2回理事会（Zoom開催）議事録

開催日：令和4年8月8日（月）10時32分～11時28分

理事数：19名（理事定数10名以上20名以内、定款第11条）

出席理事：19名 坂本秀生（理事長）、三善英知、山藤 賢、坂口みどり、市野直浩、小野川 傑、齋藤良一、吉田祥子、井口文子、中前雅美、野島順三、古閑公治、松林こずえ、山口 聡、高崎昭彦、目黒玲子、關谷暁子、大瀧博文、高田智世

出席監事：2名 齋藤邦明、上原昭浩

Zoom開催ゆえ、参加者全員への音声確認、意思疎通が行えることを確認し、10時32分より理事会を開始した。

### 報告事項

#### 1) 役員選考委員会について

同委員会に事務局として参加した小野川常務理事より、同委員会議事録を基に以下について報告があった。

開催日時：令和4年7月25日 16:00-16:54（Zoom オンライン）

今回の選考対象となるのは理事4名、監事1名であることが報告された。

その後、審議事項として以下を行った。

- ① 役員選考委員会委員長に松下委員（前当会常務理事）を選出。
- ② 代表理事（理事長）の選挙は1月から3月に立候補者受付、4月選挙、5月定時総会にて承認を得る。
- ③ 選挙方法についてインターネット投票システムも含めて検討する。
- ④ 理事および監事候補者の選考は地域および所属バランスをとる。
- ⑤ 現理事で再任を含め、理事20名および監事全員について令和5年5月定時総会にて承認。

#### 2) 厚生労働科学研究

厚生労働科学研究にて令和3年度に実施した「医療専門職の実態把握に関する研究」の研究報告書のPDFが7月12日に公開され、臨床検査技師についてもデータと共に掲載されていた。

臨床検査技師養成校が増え続けているが、同報告書では2027年（令和9年）に臨床検査技師が実施する検査数がピークを迎えることが予想され、近い将来には臨床検査技師数の過剰が予想される。医師の働き方改革によるタスクシフトシェアで臨床検査技師に行えることが拡大したが、他職種でも同様である。このことを踏まえ、臨床検査技師養成校で構成する本会として、情報を収集し会員校に提供することが本会の役目であると、坂本理事長からの報告があった。

## 議案審議

### 第一号議案 新規加盟校の承認について

新規加盟校について静岡県立大学から申請があり、審議の上承認された。なお、薬科学科は4年制であり、薬学科は薬剤師免許受験資格を得る6年制である。

科目承認校

422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田 52 番 1 号

静岡県立大学薬学部薬学科、薬科学科

議決権者：薬学部長 賀川義之先生

### 第二号議案 新規学術評議員の承認について

令和3年-4年度の学術評議員につき会員校の4校から申請があり、審議の上承認された。

### 第三号議案 国家試験問題検討委員について

令和5年2月実施予定の第69回臨床検査技師国家試験問題検討委員会の発足について審議し、令和3年度を担当頂いた山藤副理事長を中心に設けることが承認された。

### 第四号議案 顕彰委員会について

本年度の永年精励賞対象者選考に向け、顕彰規定 第3条に基づき、顕彰委員会の発足について審議し、令和3年度を担当頂いた三善副理事長を中心に設けることが承認された。

### 第五号議案 臨地実習前技能修得到達度評価試験合格 認定証について

各校において実施する臨地実習前技能修得到達度評価試験に合格したことを示すため、名刺サイズの認定証について確認を行った。

学生氏名から上部は各校で変更可能とし、(ただし「臨床検査実習生」の記載は必要)右上に校章またはシンボルを挿入可能としたテンプレートを作成して各校へ事前に配布し、印刷は各校に名札形式、携帯形式等、各校の自由度があるようにしたい。

12月の臨時総会時には会員校へ案として提示を目指し、記載する文言、デザインに関しては継続審議とした。

### その他の議案

特に無し

以上、予定していた報告及び審議事項を終え、Zoomでも滞りなく理事会を進行できたことを確認し、11時28分に終了した。

令和4年8月10日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印